



公益社団法人 山梨勤労者医療協会

甲府共立病院

〒400-0034 山梨県甲府市宝1-9-1

TEL:055-226-3131 FAX:055-226-9715

<http://www.yamanashi-min.jp/kofukyouritsu/>

お問い合わせ・詳細
QRコード



民 医 連 綱 領

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。

戦後の荒廃のなか、無産者診療所の歴史を受けつぎ、医療従事者と労働者・農民・地域の人びとが、各地で「民主診療所」をつくりました。そして1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を結成しました。

私たちは、いのちの平等を掲げ、地域住民の切実な要求に応える医療を実践し、介護と福祉の事業へ活動を広げてきました。患者の立場に立った親切でよい医療をすすめて、生活と労働から疾病をとらえ、いのちや健康にかかわるその時代の社会問題にとりくんできました。また、共同組織と共に生活向上と社会保障の拡充、平和と民主主義の実現のために運動してきました。

私たちは、営利を目的とせず、事業所の集団所有を確立し、民主的運営をめざして活動しています。

日本国憲法は、国民主権と平和的生存権を謳い、基本的人権を人類の多年にわたる自由獲得の成果であり永久に侵すことのできない普遍的権利と定めています。

私たちは、この憲法の理念を高く掲げ、これまでの歩みをさらに発展させ、すべての人が等しく尊重される社会をめざします。

一、人権を尊重し、共同のいとなみとしての医療と介護・福祉をすすめて、人びとのいのちと健康を守ります

一、地域・職域の人びとと共に、医療機関、福祉施設などとの連携を強め、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます

一、学問の自由を尊重し、学術・文化の発展に努め、地域と共に歩む人間性豊かな専門職を育成します

一、科学的で民主的な管理と運営を貫き、事業所を守り、医療、介護・福祉従事者の生活の向上と権利の確立をめざします

一、国と企業の責任を明確にし、権利としての社会保障の実現のためにたたかいます

一、人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります

私たちは、この目標を実現するために、多くの個人・団体と手を結び、国際交流をはかり、共同組織と力をあわせて活動します。

2010年2月27日

全日本民主医療機関連合会 第39回定期総会

YOUNG
HIPPOCRATES

発行：2021年11月1日
山梨県民主医療機関連合会
ヤングヒポクラテス編集部

〒409-3803 山梨県中央市若宮46-4 ニューライフビル2階
山梨民医連玉穂事務所
TEL: 055-274-3825
E-mail: igakusei@yamanashi-min.jp

お問い合わせ・詳細
QRコード



YOUNG HIPPOCRATES

医 学 生 と 山 梨 民 医 連 を
つ な ぐ 情 報 誌

Round-table discussion

総合診療専攻医が
地域医療を語る！

山梨民医連とは

高校生・予備校生

医学部を目指すあなたへ
早期臨床体験

医学生

実習や企画に参加しよう！

これが甲府共立病院の 初期研修「4つの魅力」

初期研修医と先輩医師に
インタビュー

医学部奨学生募集中

奨学生活動
先輩からのメッセージ



2021年度入職研修医（齋藤理沙、三原百合奈、八廣太樹、畑孝幸）

総合診療専攻医が

患者をひとつの臓器や疾患にとどまらず、心身、家族、生活背景など多角的な視点で治療する医師のことを総合診療医といいます。

甲府共立病院で総合診療医として働く若手医師3人にインタビューしました。

近年、新たな専門医として注目されている総合診療医ですが、その役割は何ですか？

塚原 日本は今、超高齢社会に突入しています。その結果、基礎疾患が多様化・複雑化し、複数の疾患を抱える患者も珍しくなくなりました。一方で、医師の仕事は医学や医療の進歩に伴い専門分化され、臓器や疾病単位で病を考える医師が増えてきています。日常診療での様々な個々の訴えに対応するには、患者を360度診られる幅広い知識と視野を持った医師が必要で、その部分を担うのが総合診療医の役目です。

総合診療医が求められる背景とは？

樋山 近年、入院病床、特に超急性期・急性期の病床を減らす流れになっています。こういった中で病気にならないこと・また病気になっても短期の入院が求められています。総合診療医が守備範囲としている予防医学、ヘルスプロモーションなども重要です。これらの背景から、今、総合診療医が求められているのだと思います。

総合診療医を目指したきっかけは何だったのでしょうか？

塚原 リハビリ科での研修がきっかけです。継続的なリハビリののち社会復帰していく患者さんたちを見て、病気の急性期だけでなく、その後のケアの重要性と、そこに関わる魅力を感じました。その後の地域医療研修で診療所や地域中核病院で研修を行い、そのような環境で働くことの楽しさややりがいを感じ、総合診療医になろうと考えました。

山中 元をたどると、大学1年生のときの武川診療所での実習の経験でしょうか。訪問診療に同行させて頂いて、病院ではなく家で過ごされている患者さんの姿や、家にある本や賞状、写真など、その人を形作るものが見えることが素敵だなと感じて、在宅医療に興味を持ちました。初期研修を通じて、生活の場がないお年寄りや退院先が見つからない患者さんを目の当たりにし、そういった人たちを助けたいと考えるようになりました。それができるのが総合診療医だと思いこの道を選びました。

樋山 病院には、ちょっとした病気であっても人生に絶望してしまう方もいれば、残り少ない命でも毎日楽しそうに生きている方もいます。病院実習を通じて、人はどんなに重い病気であっても健康で有り得るし、逆もまた然りなのだとことを知り、病気を治すことが必ずしも患者の健康に直結しないのだと考えるようになりました。健康は身体の問題ではなく、人格や環境も関わる問題であり、真の意味で患者の健康を願うならば、患者のパー

地域医療を語る！

ソナルな部分や生活背景などにも目を向けなければなりません。SDH（健康の社会的決定要因※1）や平和の問題など、病気だけでなく健康にも目を向けた医療を展開できるのは総合診療医しかないと判断したため、総合診療医を目指すことにしました。

塚原先生は指導医としても活躍されていますが、総合診療専門研修プログラムの魅力とは？

塚原 もっとも魅力的なのは、多彩な研修先のフィールドだと思います。センター病院である甲府共立病院の総合診療病棟をはじめ、地域の中核病院、診療所と、研修医に必要なフィールドが山梨民医連には揃っています。また、月2回の家庭医部会が開かれており、そこで振り返り、レクチャー、ポートフォリオの指導などが行われ、指導も大変充実しています。

地域医療の実践のためには、どのような力が求められますか？

塚原 病気だけでなく、その人の人となりや家族、地域にまで目を配り評価したり関わったりできる力が必要だと考えます。

山中 患者さんにとって身近な存在となることと、地域の資源をよく知っておくことだと思います。患者さんと地域をまるごと診るためには、自分の病院だけでなく他の医療・介護施設との連携が不可欠です。地域にどんなサービスがあるのか知り、お互いに顔の見える関係を作っておくことが重要だ

と思います。山梨民医連は介護のフィールドも多いので、とても連携が取りやすいですね。

樋山 病院はよく、社会という名の川の「下流」として表現されます。我々医療者は、病気に罹り「下流」まで流れてきた患者の救命に手を尽くしていますが、川の「上流」には病気の原因になりうる環境、例えば、貧困や過酷な労働環境、医療アクセスの悪さなどの様々な要因が広がっていて、「下流」まで流れ着くのは一部の患者だけなのです。健康な社会を目指す上で、「上流」にアプローチすべきことは当たり前の流れだと思います。「上流」を変えるには法律などへの介入も必要ですし、「上流」で溺れかかっている人達には予防医学的な介入も必要です。こうした「上流」へのアプローチが、地域医療の実践に不可欠な能力なのではないかと考えています。

山中先生と樋山先生は昨年、初期研修を終えたばかりですが、甲府共立病院の研修はいかがですか？

山中 甲府共立病院のCommon disease（＝日常で遭遇する頻度の高い疾患）の症例数は圧倒的に多く、また稀な疾患も最初に診断することもできるので、病気の勉強に関してこれほど充実した病院はないのではないのでしょうか。初期研修1年目のときから、「自分で考えてやってみる」という機会がとても多かったですが、上級医・指導医の先生が手厚く指導してくれるので不安は少なかったです。自分が考えていることをプレゼンする場も多く設



樋山智和医師
山梨大学卒
2019年度入職
総合診療専門研修
プログラムを専攻中



塚原恭平医師
獨協医科大学卒
2015年度入職
家庭医療専門医



山中阜甫医師
山梨大学卒
2019年度入職
総合診療専門研修
プログラムを専攻中



病気の upstream と downstream のイメージ図

けられ、丁寧にフィードバックを受けられるので自信もつきます。多職種との距離も近いですし、医局がひとつなので他科の医師に気軽に相談できるのも良いところだと思います。

樋山 他の研修病院では経験することなく終わるような比較的難易度の高い手技が何十件と経験でき、初期研修が終わる頃には自信を持って施行できるようになります。それだけに留まらず、地域に暮らす人々の健康にも目を向け、患者さんの家屋清掃に参加したり、地域の健康活動に参加したりと院外へ出て学ぶ機会も多く、行政機関に出向き対談したり、ラジオに出演して健康指導をするなど、病気の要因となる「上流」へのアプローチを学ぶための研修も充実しています。

将来の目標を教えてください

山中 僕は診療所の医師のような、地域社会の中にある健康や介護の問題についての相談役になりたいです。「どこに相談したらいいんだろう？」という地域の方の悩みにも応えられるような医師になれたらと思います。

樋山 在宅医療や緩和ケアに携わりたいと考えています。在宅医療や緩和ケアは、患者が最期までナラティブ(※2)な個人として自己の生を全うすることを可能にします。人は病気であっても健康であり得ると先に述べましたが、つまり究極的には、亡くなるその瞬間でさえも健康であり得るということです。この「究極的な健康」を1人でも多くの患者に届けることを、私の仕事にしたいと考えています。

塚原 まだまだ、総合診療医、家庭医は医師の中でも一般的ではないです。地域医療に関わりたいという医師や医学生はいても、実際には他の専門医になっているのが現状です。もっともっと総合診療

医という言葉が一般的になって、総合診療医を目指す医師が増えて、みんなで山梨県のヘルスプロモーションを担っていく、そんな存在になりたいですね。

最後に医師を目指す高校生・医学生へ向けてメッセージをお願いします

樋山 これからの医療は、川の「上流」へのアプローチが欠かせません。「上流」にはどんな劣悪な環境が広がっていて、どんな人達が溺れかかっているのかを、自分の目で見てもらいたいです。そのためには、民医連を利用して施設見学やボランティアなどに参加してみてください。もちろん、「下流」である当院への見学もお待ちしております。

山中 学生の皆さんは、大学受験や国家試験など目の前の勉強が大変だと思いますが、勉強だけでなく、部活やアルバイトなどにも積極的に取り組んで、色々な人と出会って社会経験を積んでほしいです。また、医師になるとできることが増えるので、色々なことに挑戦したい人にはすごく良い仕事です。医師を目指すことを迷っている方も、ぜひ一度医師体験や早期臨床体験に参加してみてください。

塚原 総合診療医はまだまだ人が足りませんが、地域に必ず必要であり、今後も重要性が増す分野です。未開拓の部分も多く、どんどん発展していくことができることも魅力です。地域医療に興味がある、地域で働きたい、生まれ育った山梨に恩返しをしたい、という人たちは、ぜひ総合診療医になることを考えてみてください。

※1 健康の社会的決定要因 (SDH: Social Determinants of Health) 人々の健康状態を規定する経済的・社会的条件のこと。近年、人々の健康や病気が、社会的、経済的、政治的、環境的な条件に影響を受けることが広く認められるようになり、その研究が進んでいる。

※2 ナラティブ 未来つまり死や死後のことまでを含む人生というストーリーの語り手。

山梨民医連とは
甲府共立病院を含む県内6法人が加盟する医療・介護機関です

県内の総合病院	内科診療所	歯科診療所
3病院	5ヶ所	4ヶ所
保険薬局	訪問看護ステーション	特別養護老人ホーム
5軒	7ヶ所	1ヶ所
その他の介護事業所	地域包括ケアセンター	看護学校
28事業所	1ヶ所	1校
職員数(正職員+臨時職員) ※2021年4月時点	医師数(常勤) ※甲府共立病院2021年4月時点	病床数 ※甲府共立病院
1,832名	60名	283床
年間の救急搬送車患者数(2次救急) ※甲府共立病院2020年度	腹腔鏡下手術件数 ※甲府共立病院2020年度	内視鏡件数 ※甲府共立病院2020年度 (緊急内視鏡 369件) 件/年
3,288件/年	242件/年	10,702件/年
心臓カテーテル治療 ※甲府共立病院2020年度	初期研修医定員枠 ※甲府共立病院	甲府共立病院初期研修医 (過去10年の年間受け入れ平均人数)
163件/年	6名	3.3名

民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現を目指す組織です

POINT1 差額ベッドのない病院

貧困が蔓延する終戦直後、「いつでもだれでも安心して医療が受けられるように」と願う医師や看護師と地域の住民が協力し合い、現在の甲府共立病院の前身となる診療所が誕生しました。医療を受ける権利を等しく保証するため、個室料(差額ベッド代)は頂いていません。この基本姿勢は、半世紀以上を経た今も息づいています。

POINT2 無料低額診療事業

医療や介護が必要であるにも関わらず支払いが困難な方に対し、一定の基準を満たした場合に医療費の自己負担額の減額や免除を行う社会福祉法第2条に基づく事業です。山梨民医連の病院・事業所で実施しています。また、制度が適用されない場合にも、当面の生活などについて問題解決のための支援を致します。

POINT3 地域・社会への働きかけ

必要な医療や介護を安心して受けられる「まちづくり」の視点に立ち、地域に出向いての無料健康相談会の実施、地域住民と共につくる助け合い事業の運営などを行っています。また、そうした経験を通して見えてきた地域の現状や医療アクセスの問題などを社会に発信し、より多くの人が適切な医療・介護を受けられるよう活動しています。

山梨民医連

医学生センター

YouTubeチャンネルで配信中!

地域医療
家庭医
教育

総合診療
専門研修

地域で育つ
研修

甲府共立
病院

初期研修・後期研修の様子
を動画で
CHECK!

高校生・予備校生 医学部を目指すあなたへ

医師体験

春・夏・冬と年3回開催しています。実際の医療現場の見学や、医師との懇談、体験では採血シミュレーション・縫合体験など毎回異なるプログラムを用意しています。またオンライン開催にも対応しており、臨場感のある動画などを活用して対面と同様にリアルな医療現場をお伝えします。

医師体験を通じて、医療者を目指す皆さんの夢を後押しします。何度でもご参加可能です。お待ちしております！

参加者の声

- ▶実際に医療に携わっている方の話を聞いたり、リアルな医療現場を見て医師になりたいという思いが一層強まった。
- ▶オンラインでの体験で何が出来るか楽しみでもあり不安でもあったが、実際に動画で現場を少しでも体験することが出来て良かった。



受験生企画

医学部受験生を対象に受験生向け企画を実施しています。「医師になるということ」について講演を聞き医療を取り巻く現状や課題について学びを深めます。更に、臨床で働く医師と一緒に、実際に経験した事例をもとにワークショップを行い医師がどう患者と向き合っているのか一緒に考えます。現役医学生に受験について質問するコーナーも！

ぜひ進路実現への一助としてご活用ください。

※2020年度はオンライン開催

参加者の声

- ▶医師になって、地域をより良くしたいという気持ちを強くすることができた。
- ▶医師や医学生の方から様々なお話を伺うことが出来、勉強のモチベーション向上に繋がった。
- ▶医師になるとはどういうことかを自分の中で見つめなおすきっかけになった。



模擬面接

共通テスト前と後の2回開催しています。医師が面接官となり、実際の面接さながらの緊張感を体感できます。面接終了後には丁寧にフィードバックも行います。医師に直接質問を投げかけてみましょう。体験者の的確な返答が得られます。

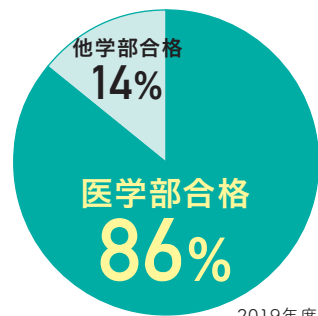
面接官の医師からメッセージ

甲府共立病院精神科
佐藤琢也医師

医学部を目指す皆さん！
少しでも皆さんの力になれば…と医師体験や模擬面接など多くの企画を開催しています。私は模擬面接の面接官をすることがあります。過去、参加頂いた学生が医学部に合格した時は自身のこのように嬉しく感じました。ぜひ、夢の実現のため企画に参加してみてください。お待ちしております。

医学部合格率
8割超!!

(共通テスト前後2回とも参加した場合)



2019年度実績



医学部に合格したら…

早期臨床体験

受験生の皆さん、合格通知を受け取ったら、ぜひ入学前に実習にご参加ください！私たちは地域に根差す臨床研修病院として、医学部低学年からの

病院実習例 甲府共立病院

（腹腔鏡オペ見学コース）

鏡視下手術を年間200件以上行っています。開腹手術と違い、切開創が小さく患者さんへの負担が少ない手術です。手術室に入り実際のオペを見学することで、医師になりたい気持ちをきっと高めることが出来ます。

（心臓カテーテル室見学コース）

甲府共立病院では年間200件近くの心臓カテーテル治療を行っています。その中核を担い活躍しているのは女性医師です。実習を通して女性医師の働き方のイメージを掴む事が出来ます。また、医師を中心に多職種と連携して治療している様子を見学することもできます。

（病院探検・チーム医療見学コース）

医師の仕事に限定せず、広く病院内にある各部署を見学するコースです。病理検査室、血液浄化センター、リハビリ室、MSWなど…さて、何をする部署でしょう？入学前に見識を深め、医療について知識を広げましょう。将来のチーム医療のリーダーとしての医師の役割を学びましょう。

満足度

100%

プログラム完全オーダーメイド

見学してみたい診療科など、何でも相談してください。ご希望に応えられるようにプログラムをご用意します！



医学部合格者向け企画

実習も積極的に受け入れています。あなたの興味のある医療現場を覗いて、医師になることの意味を一緒に考えてみませんか？

診療所実習例 御坂共立診療所

（在宅医療見学コース）

地域医療
最前線

9:00 診療所紹介

10:00 訪問看護同行

12:00 休憩

13:30 訪問診療同行

16:30 実習終了

御坂共立診療所は、医療機関の少ない御坂・八代地域に地域住民が自らお金を出し合って建設した診療所です。周囲は果樹園に囲まれ、農業を営む患者さんが多く来院されます。労働と生活の場から地域に密着した医療・介護の連携を見学することができます。

メッセージ

当診はとてもアットホームな診療所です。お互いの距離が近く、診療所のスタッフ皆が患者さんの経過や生活のことをよく知っています。そうした中で病院や訪問看護、介護施設等と連携しながら整形外科疾患から小児科疾患まで幅広い診療を行うと共に、訪問診療も積極的に行っています。

病院とは違い、診療所ではこの地域にいる人がどんな生活を送っているのか密接に感じてもらえます。実習に来た際には患者さんと直接話をして病気の背景にあるライフスタイルを知ってください。「生活とリンクした医療」を共に学んでいきましょう。



新村浩透医師
御坂共立診療所所長
山梨医科大学卒
2002年度入職／神経内科専門医



医学部合格者向けに毎年「合格おめでとう会」を実施しています。入学前に一緒に学ぶ仲間と交流を深めましょう。また、医師や先輩医学生も参加して、働き方や学生生活の様子などを聞ける機会になっています。医学生からの履修登録ガイダンスも行っています。事前にどんな授業があるのかチェックしておきましょう。これで入学の準備は完璧！

医 学 生 実習や企画に参加しよう！

救急外来から 患者のSDHを考える

学習進度に合わせた実習がおススメです

甲府共立病院は県内の中北医療圏にあり、年間3000台を超える救急車を受け入れています。患者さんの社会的背景まで考える実習をしよう！

実習例

17:00 オリエンテーション
17:30 救急外来見学
20:00 実習終了

※希望があれば20:00以降も実習可能

参加者の声

様々な症状の患者さんが救急搬送されてきました。さらに高齢者、独居、貧困・・・置かれた状況も様々。症状に合わせて適切な判断をして処置を行う力も必要ですが、患者さんの生活背景を知り、患者さんに寄り添うことも大切だと感じました。大学の救急車同乗実習ではできない体験でした。



多職種共同の チーム医療実践

医師以外の多職種の現場に乗り込もう！

チーム医療の実践、多職種実習など学生時代の今の時期にしかできない経験をしよう！

実習例

8:50 オリエンテーション
9:00 栄養科(調理、栄養指導見学)
11:00 リハビリ見学
13:00 薬局(調剤、服薬指導見学)
16:00 実習終了

参加者の声

栄養科で各種療養食がどのようにできているのかを知り、患者さんに対して栄養指導する場面も見学することができました。薬局では服薬指導の場面を見学しました。多職種の果たしている役割を知り、医師の力だけではなく、多職種と協力することで良い医療を提供できるようになると感じました。



低学年向け学習企画

医師や多職種を講師にリアルな医療現場の状況を聞くことができます。

参加者の希望に応じて内容や講師を変え、医学部生同士が交流する場になっています。

※過去のテーマは「チーム医療」や「学生から研修医までの過ごし方」

2021年8月の
テーマは
「専門医って何？」
講師は内科
板垣奈々医師



実習参加を希望する方はこちらをチェック (感染対策のため事前の健康確認をお願いしています)

▶対 象 医学部入学予定者から6年生まで	▶実習内容 希望に合わせてオーダーメイドでできます
▶実施日 平日の診療時間、希望があれば当直実習もできます	▶食 事 こちらでご用意します
▶実習先 甲府共立病院など山梨民医連の関連施設	▶参加費 無料

研修医に会いに行こう！

希望があれば二次救急当番日当直実習も可能です！

甲府共立病院は2010年に山梨県内初の総合診療病棟を開設しました。初期研修医教育の主担当部署で、内科研修の中心を担っています。高学年の総合診療病棟での実習では、患者さんを受け持つ研修医疑似体験実習を推奨しています。実際の研修を体験しよう。

初期研修を見据えた実習

研修医の仕事を直接見ることができる

実習例

1 日 目	8:30 オリエンテーション
	9:00 チャートカンファレンス
	9:30 初期研修医同行
	12:30 休憩
	13:30 総合診療病棟レクチャー
	14:00 総合診療病棟カンファレンス
	15:00 医師、看護師、セラピストに同行
	17:00 実習終了
2 日 目	8:30 オリエンテーション
	9:00 チャートカンファレンス
	9:30 見学希望の診療科など
	12:30 休憩
	13:30 訪問診療
	15:00 病院概要説明
	15:30 研修制度説明
	16:30 実習終了

参加者の声

研修医の研修している姿を見学できました。総合診療病棟や訪問診療、多職種連携を見学し、地域に根ざした病院で、患者さんに寄り添った医療を提供していることが分かりました。研修医は医師だけでなく多職種の力も借りて病院全体で育てられていると感じました。初期研修説明を受けることができ、参考になりました。



高学年向け学習企画 国試対策ミニ講座

医師が講師となり医師国家試験の過去問を中心に学習しています。2021年2月より開始し、これまでに公衆衛生や精神科をテーマに実施しています。お気軽にご参加ください。

2021年7月の
テーマは
「臨床の視点から学ぶ!公衆衛生
～ヘルスプロモーション編～」
講師は内科 塚原恭平医師



これが初期研修「4つの魅力」

- 1 指導医・上級医が教育熱心！ **医局がアットホーム**で相談しやすい！
- 2 病棟・救急・外来・地域・往診と**多彩な研修プログラム**で成長できる！
- 3 2年間のプログラムを**自分流にカスタマイズ**できる！
- 4 病院全体で**研修医を教育・サポート**する体制があり、多職種が優しい！

初期研修医にインタビュー

Q 甲府共立病院での初期研修を決めた理由は？

学生時代に実習に伺った際に、医師同士が科を越えて、また看護師や理学療法士などコメディカルとも連携を密にして診療に当たっている姿が印象的であり、自分の目標とするチーム医療を学べると思ったからです。また、総合診療科での研修や当直帯での救急研修が充実していることから、医師として必要な思考力や対応力を養うことができると思ったことも決めた理由の1つです。

Q 印象に残った研修を教えてください

入職直後の4月に行われた、多職種研修です。放射線室、検査室、薬局、栄養課、相談室、看護など全ての現場で研修を行います。医師として働き出したらできない経験で、医師のオーダーを受けて多職種がどう動いているのか知ることができました。チーム医療を実践していくための大切な研修だったと思います。

Q 病院の雰囲気はどうですか？

一人一人の研修医を大切にしている病院だと感じています。指導医、上級医の先生方をはじめ、多くのスタッフの方々に支えられながら研修しています。あと、医局が1つなので各科の垣根もなく、色々な先生方と関わる機会もあり、アットホームな雰囲気です。文字では伝えきれないので、ぜひ実際に見学しに来てください。

Q 仕事のON・OFFはしっかりできますか？

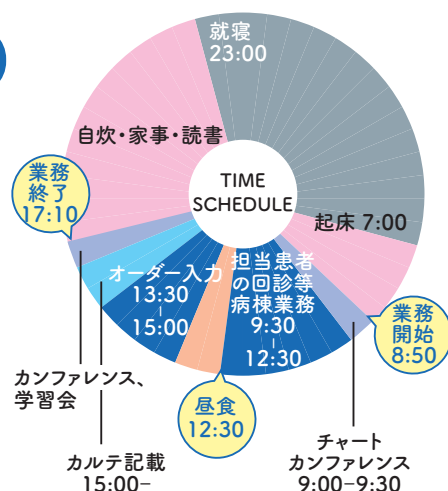
仕事とプライベートのメリハリをしっかりと付けてできていると思っています。最近、猫を飼い始めました。休日は癒やされてます。

初期研修医 2年目
窪田由和子 医師
出身大学：山梨大学
好きなもの：猫・温泉
2021年度現在

医局がアットホーム
チーム医療の実践



1日のスケジュール(例)



募集要項 [甲府共立病院プライマリケア重点プログラム]

- 募集人数** 6名
- 応募資格** 医師免許取得見込み者
- 選考日程** 随時行っております
詳しくはお問い合わせください
- 選考会場** 甲府共立病院
- 必要書類** ①履歴書 ②成績証明書
③卒業見込み証明書 または 卒業証明書
④小論文 ⑤エントリーシート

初期研修待遇

- 給与** 1年目 300,000円
※賞与(年2回)あり
- 諸手当** 研修手当、住宅手当、家族手当、
時間外手当、休日出勤手当、
当直手当、交通費支給
- 身分** 常勤職員
(健康保険、厚生年金、雇用保険加入)
- 休暇** 有休休暇(1年目10日)、夏期休暇(5.5日)、
年末年始休暇、その他休暇制度あり

先輩医師にインタビュー

Q 甲府共立病院の初期研修の特徴を教えてください

研修医は担当患者を持ち、上級医・指導医に相談しながら、主体的に治療に参加します。手厚い指導体制のもと、責任を持ち治療方針を悩み・決定していくことで、数ヶ月のうちに驚くほど成長することができます。

研修医が少人数なので、手技の機会が沢山巡ってきます。
上級医・指導医に見守られながら安心して沢山の手技研修することができます。

Q ここで初期研修をして良かったと思う点は何ですか？

当直研修がとても良かったです。甲府共立病院は年間3,000台を超える救急車を受け入れています。多彩なCommon diseaseに出会い、多くの経験から初期研修で重篤な患者さんを見逃さない力、どんな患者さんでも診ることができる力を身に付けることができます。また、社会的困難を抱えた患者さんに関わる機会も多いです。医師として、患者さんの病気や疾患を診ることだけではなく、生活や社会的背景にも目を向ける必要があることを学ぶことができます。

ここで習得できた力はどの病院でも通用できていると思います。

Q 現在の研修の様子を教えてください

後期研修を終え、循環器内科の専門研修中です。心電図の読影すら苦手だった私が循環器内科に興味を持ったのは、急性心筋梗塞の患者さんがPCI(経皮的冠動脈インターベンション)ですぐに症状が改善した場面に遭遇したことがきっかけでした。研修は、市中病院の専攻医は少数精鋭なので、若手が手技や症例をひとりじめできることが多いです。指導医の先生も優しいので楽しく、メキメキと力をつけているところです。

認定内科医
笹本なごみ 医師
出身大学：山梨大学
好きなもの：ワイン・旅行
2021年度現在

どんな患者さんでも
診ることができる
力がつく
多彩な
Common
disease



豊富な手技件数
1年間の平均数(1年目研修医)

腹水・胸水・腰椎穿刺	18件
CVC	18件
気管挿管	26件

初期研修プログラム年間スケジュール(例)

	オリ	導入期 (総合診療部)	内科 (総合診療部)			救急	外科	小児科 (一般外来)		産婦人科		
1 年次	救急研修(当直:月4~5回)											
	腹部エコー研修(週1単位)											
	内視鏡研修(週1単位)											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2 年次	精神科	内科 (選択)	地域医療 (一般外来)	選択科目								
	救急研修(当直:月4~5回)											
	腹部エコー研修(週1単位)2年目から心エコーも可能											
	内視鏡研修(週1単位)											

甲府共立病院の後期研修プログラム

▶ 内科専門研修プログラム

▶ 総合診療専門研修プログラム

▶ モラトリアムコース

専門研修を始める前に内科的な力を高めたい方
向けのコース

詳細はホームページ
をご覧ください。

QRコード

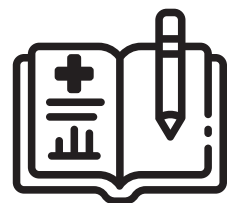


山梨県で唯一の
臨床研修病院第三者評価
JCEP認定病院



評価されたポイント

- ・通年に渡る超音波研修
- ・女性医師に対する支援
- ・ステップアップ方式の救急研修



医学部奨学生 募集中

アルバイトの代わりに
大学で学べないことを
一緒に学ぼう

私たちは
学ばみなさんの
力になりたい

奨学生活動は、みなさんの医学生としての成長、医学生生活の充実にきっと役立ちます。そして大学では学べない学びが沢山あります。奨学生になって、学び、考え、私たちと一緒に医療を支えていきましょう。



貸与
金額

1～3年 ……50,000円/月
4～6年 ……60,000円/月

※ご希望に応じ上限額まで1万円ごとに選択可能です

ポイント
1

返済免除制度あり

※卒後山梨民医連で一定期間医師として勤務することで免除されます

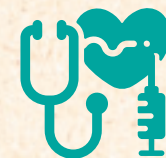
ポイント
2

社会問題や医療現場を学ぶ 多様な奨学生活動

ポイント
3

医学の学びを深める臨床実習や医師懇談 の実施で医学生の学びをサポート

〔詳細〕
下記のQRコード
からお問合わせください



あなたの目指す医師像を見つける

奨学生活動

さまざまな医療体験や学習活動、学び合いを通して、「どんな時代に医師になるのか」や「地域に、患者さんに求められる医師像とは」を見つけます。

奨学生活動の魅力

- ✓ 地域や社会からどんな医師が求められているかを深めることができます。
- ✓ それぞれの医師像を深めるために地域医療、SDH、チーム医療などを実践的に学べます。
- ✓ 地域の人々や患者の声に共感し、その声を代弁できる力を養うことの大切さを知ることができます。

EVENT
01

奨学生会議

毎月1回、奨学生の仲間たちと、学生の要望にもとづいて学習。

講師は医師やNPOの代表などさまざま。時にはフィールドワークにも取り組みます。

オンラインでも開催し、他県医学部に通う奨学生も気軽に参加できます。



※アドボケーター (advocator) とは、自分の意見や権利を上手く伝えることのできない患者の代わりに、意見や権利を主張する代弁者のことである。

代弁者、擁護者、権利擁護者、権利擁護推進員、医療決断サポーターなどとも呼ばれる。

2020年度のテーマ

それぞれの医師像を深める～
※アドボケーターとしての役割

- 5月 新奨学生歓迎会
講師: 甲府共立病院医師
- 6月 「感染対策の現状を理解する」
学習会
講師: 甲府共立病院院長
感染認定看護師
- 7月 「SDHを深める」
講師: 医療ソーシャルワーカー
- 8月・9月 各自実習もしくは
フィールドワーク活動参加
- 10月 「フィールドワーク発表会」
- 11月 「SDH アドボケーターとしての
医師の役割を深める」
講師: 石和共立病院院長
- 12月 忘年会
- 1月 「これからの医療制度・医師に求められるもの・奨学生に期待すること」
講師: 巨摩共立病院院長
- 2月 北関東甲信越・医学生のつどい
「コロナの時代を生きる君たちへ
～医療現場のリアルな実態から～」
- 3月 民医連・医学生のつどい
「医学生が本気で考える社会づくり」



あなたの目指す医師像を見つける 奨学生活動

山梨民医連の奨学生は、看護学生など多職種にもいます。全国にも多くの奨学生がおり、それらの学生と交流する場があります。また医師をはじめ、医学生担当者も、他職員も、医学生の成長を願い、サポートします。

EVENT 02/ 医系学生合宿・交流会

山梨民医連内の看護学生や薬学生など多職種と共に学ぶ企画です。2020年は2月に開催、テーマは「新たな時代・民医連の役割を理解し、仲間と未来を語り合おう」でした。医学生をはじめ、薬学生・看護学生・歯学生が参加、交流の機会となりました。



EVENT 03/ 民医連・医学生のつどい

毎年開催されている「医学生のつどい」は全国から医学生や医師、医療スタッフが集まり、医療や社会問題について「学び・交流する場」です。どんな医師を目指すのか」に多くのヒントが見つかると思います。民医連の奨学生を中心に集います。全国の医学生と大いに交流しませんか。



EVENT 04/ 講演会企画

年1～2回、様々な講師を招いて無料の講演会を開催しています。これまで、2016年には中村哲医師講演の実現、2019年には日本プライマリ・ケア連合学会・元理事長の丸山泉医師講演会も開催しました。毎年医学生の要望に応じて著名な人物の講演会を開催しています。ご希望をお寄せください。

中村哲医師：
パキスタンとアフガニスタンで難民への医療支援に尽力する。医師としてだけでなく、「100の診療所よりも1本の用水路」という信念の下、井戸を掘り、用水路建設を進め、人々の支援に努めた。2019年12月逝去。



その他の 医学生 サポート

山梨大学近くの医学生サポートセンターで、週1回昼食を食べながら学習するランチミーティングを開催していました。2021年4月からは医学生応援お弁当テイクアウトをはじめました。月2回八ヶ岳のふもとから届く無農薬野菜も無料配布しており、野菜不足気味になる学生に好評です。医学生サポートセンター（玉穂）ではWi-Fi環境があることから、オンライン授業を受ける学生もいます。これからも活用してください。



先輩からのメッセージ もっと奨学生について知りたいなら先輩に聞いてみよう！

Q 奨学生活動が今の診療に生きてますか？



山梨大学 2021年卒
齋藤理沙 医師

A バッチリ生きていますね。奨学生会議やランチミーティング、講演会などでいろんなことを多方面から学びました。患者さんは同じ病気でも一人一人違った生活背景を持っています。学生時代仲間と共に学んだ社会のあり方や課題は患者さんを病気だ

けでなく、一人の人間として深く理解する上で大いに役立っています。特に奨学生活動で学んだ「SDH」の視点は日々の臨床の診療場面で医師に問われる視点です。一人一人の患者さんと真剣に向き合い、学び成長していきたいと考えています。

Q 今までで一番印象的な活動は何ですか？

A 僕が最も印象に残っているのは、2019年に行われた大阪・西成のあいりん地区へのフィールドワークです。街そのものはきれいで、ドヤ街のイメージとは違っていました。そこに住む人々の生活水準の低さや、そこに住み続けなければならない現状を知ることになりました。しかし、日雇い労働者

たちは暗く悲しく暮らしているというのではなく、むしろ釜ヶ崎で出会った人と語り合い、清掃の仕事などをしっかりして、生きがいを感じながら過ごしていることが分かりました。奨学生の仲間と共に、社会的少数者が抱える困難について理解を深め、支援のあり方を考える機会になりました。



山梨大学 6年
Oさん

Q どんな活動をしてみたいですか？



北里大学 4年
Hさん

A 将来地域で働く、総合診療医のような医師になりたいと考えています。奨学生になり、これまで地域の診療所や救急外来などで実習させていただきました。自分の将来の医師像を考える上で、大学の勉強だけでは学べない実習をこれからも可能な限り体験したいです。奨学生会議も、いろん

な学生の意見が聞けておもしろいです。会議はオンラインで参加し、山梨の奨学生との交流の機会にもなっています。先日甲府で行われた大学生対象の食料支援「ほっとまんぷくプロジェクト」にボランティアとして参加しました。今後もフィールドワークにも参加したいです。